

東北支部設立5周年を迎えるにあたって

北原 啓司 東北支部長 (弘前大学)

1. 支部結成からこれまでの活動

平成28年10月に、日本都市計画学会東北支部は結成5周年を迎えることになる。平成23年10月3日、日本都市計画学会の公益社団法人化に合わせて正式に設立した東北支部であるが、その年の3月11日に東日本大震災が発生してから、すでに5年を経過しており、実は我々の支部としての活動は、そこから始まっていたというのが実感である。

この間、支部の活動としては、相羽康郎前支部長の創設期から、総会の開催はもとより年に3回ほどの研修会、見学会、そして毎年3月には支部の研究発表会を開催してきている。

東北支部は、青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・新潟の7県に在住する会員によって構成されており、距離的な問題から、隔年で北ブロック(青森・岩手・秋田)と南ブロック(宮城・山形・福島・新潟)で研究発表会を開催しているが、平成27年度は南北合同開催の年ということで、平成28年3月6日(土)に、地下鉄東西線が開通し、直接アクセスが可能となった東北大学災害科学国際研究所(仙台市)において、研究発表33題、参加者64名によって開催された。

2. 設立5周年にあたって

さて、東北支部設立5周年にあたって、やはり東日本大震災発生から5年という事実を重く受け止め、我々の研究活動と地域社会との関係性を世に問うためにも、5周年記念行事として連続震災復興問題連続シンポジウム「復興の都市計画・まちづくり。」を開催することとしている。

第1回「防集移転元地問題を考える」は、東北大学川内キャンパス文化系総合講義棟において、4月23日(土)午後2時からの開催となる。

震災から5年という節目をむかえ多くの復興事業が進捗を見せている一方、災害危険区域に指定された移転元地問題が計画課題として大きくクローズアップされてきている。復旧から復興の過程においては、危険区域というレッテルを貼ることで、まずは災害が繰り返されるのを避ける手法がとられてきたが、復興からまちづくりへとという次なる段階においては、そこでどのような将来像が描けるかが、地域の持続可能性にも大きく関与していくはずである。5年経過したことにより、先進的な被災自治体では、この課題と真正面から向き合い、試行錯誤を繰り返しながら、いくつかの工夫を施策に取り入れ始めている。そもそも土地利用需要が大きくはないことに加えて、民有地の分散的存在の問題もあり、その利活用が順調に進行しているとは言えない状況にあり、東北支部では2014年に、すでにこの問題について基本的な考え方を議論するためのシンポジウムを開催したところであるが、各地における移転元地の利活

用等に関する実践的取り組み事例をご紹介いただくと共に、そのあるべき姿や実現のための具体的方策等について議論することをシンポジウムの目的とする。

当日は、伊藤義之氏(建設技術研究所)に釜石市の計画事例を説明していただき、小林典明氏(東松島市復興政策部長)、鈴木三津也氏(仙台市都市整備局長)、石塚昌志氏(名取市副市長)の事例報告、コメンテーターに武政功氏(復興庁宮城復興局長)、コーディネーターに北原啓司支部長というシンポジウムになっている。ぜひ、ご参加いただきたい。

3. これから続く連続シンポジウム

政府は、避難指示解除準備区域と居住制限区域については、2017年3月までに避難指示を解除し、住民の帰還を可能にするという方針を示したが、福島12市町村の復興に向けた現状や課題について、十分に理解されているとは言い難い状況にある。そこで第2回シンポジウムは、7月に仙台市で、鈴木浩氏(福島大学名誉教授)や宮口勝美氏(浪江町副町長)ほか、現地の復興に関わっておられる方々に登壇していただき、今後の福島12市町村の復興まちづくりのあり方について議論し、中井検裕現会長にもご参加いただく予定である。

第3回目の企画としては、10~11月にかけて、被災自治体を会場に、震災復興から地域の活性化に向けた取り組みの現状を議論する視察&シンポジウムを開催の予定である(対象として、大船渡市に打診中)。土木事業の完了と共に「まちびらき」が各地で実施されているものの、本当の意味での「まちびらき」は、まだ先の話である。とはいえ、まちづくり会社等により、エリアマネジメントを始めた地域も登場しており、5年の経過がそのような議論を可能にするはずである。

この記念行事のタイトルは「復興の都市計画・まちづくり。」としている。句点「。」は、けして誤植ではない。決が続いていくという意味の表れである。記念行事として5周年で開催するというのではなく、我々東北の都市計画研究者は、これからの半生の中で、復興まちづくりにずっと関わり続けていくという覚悟のタイトルだと感じていただきたい。



大船渡駅周辺地区まちびらき